変化に挑戦

先を読み取り時代に対応

兵庫工業会 副会長
村元　四郎氏

―会員交流委員会の今後は。

神門　工業会の活性化を図るために会員同士がよく知り合うべきだという趣旨の会員交流委員会は自由闊達な意見交換が特徴となっている。さらに意見を活発に出してもらうために、数人からなる分科会（ワーキンググループ）がある。企業の責任ある立場の人が集まり、意見を出し合うことから、その人の考え方が分かり、本当の交流が生まれる。そこで出た案を全体の委員会で議論する。その過程で人は成長するし、いろんな情報を入手することで自分のビジネスに反映する良い循環ができている。新規のアイデアを出す場と、意見交換の中でリーダーシップを発揮し成長し、工業会に入って良かったと感じる。できるだけ参画意識を持てるためにリーダーは毎年替えるなどの工夫をしたい。

―産業・技術振興委員会はどんな活動を進めますか。

金井　本来の産業・技術振興とは言葉の通り、これからの新しいビジネスを創造する技術力を養うという役割がある。大手企業は経営資源も豊富で、働き方改革やダイバーシティーなどの実行で先行している。中小は分かっていてもやる余裕がなく、格差は開く一方だ。中小の生き残る道を業会会員約400社の中で、現存の企業にどう新しいビジネスを作ってもらうかのお手伝いをしたい。400社は、最大の異業種交流会組織だと思う。これからは多様性・異分野との融合が重要になる。知能（AI）などモノづくりの新しいスタイルについてどう情報提供できるか。中小は人材やお金の余裕がなく、技術的にも格差ができてきている。格差を少しでも是正するために我々が情報提供する。一方、将来の県内モノづくり企業を支えるために理系の学生や兵庫県内企業へ就職してもらいたい。兵庫県と連携し、企業を知ってもらい、大学の先生に企業を訪問してもらう。人材を確保していくことや海外視察で最先端の企業を見て刺激を受けてもらう策などの必要性を感じる。

技術革新、地域資源活用を展開

―兵庫県産業の活性化に向けて必要なことを、キーワードを挙げて語ってください。

宮脇　従来型ではなく、新しい製品にチャレンジする「次世代産業への取り組み」を挙げたい。大手、中小に限らず、新しい分野に乗り出すことを企図している。経済効率性だけではなく、企業というものが生き残るためには新陳代謝が必要。いろんな切り口があるが、産学連携が非常に大事。兵庫県大に金属新素材センターができたが、大学の研究施設という位置付けではなく、中小を含め企業に入ってもらい、施設を使って新しいモノを生み出すという動きがますます重要になるだろう。一つの企業だけではできないので、研究機関、大学とうまくつなげるやり方が次世代産業のキーワードになる。そのために、大学、備えて国が採用するが、日本ではそうなっていない。民間ではどうにもできないこともある。行政にしかできない管理力を使って、やっていただきたい。人口減少、人手不足の中で制度であるならそういうことをしないと日本に来る外国人がいなくなる。足元の課題でなく令和次世代に向かい将来のあるべき姿を描く中での転換施策が必要である。

竹田　「中小企業の活性化」がキーワード。当社では大学と連携して弁当の海外展開など新たなことを始めているが、分からないことがある場合に、経済産業省でも兵庫県産業労働部でもこちらから聞くと大変丁寧に教えてもらえる。だが中小が重要。良い方法があるということを勉強しながら、交流の場を広げていって連絡を密にしていくことが大事。「こんなことがある」と教えてあげるといい。県でも農業分野やいろんなことを積極的にやっているが、知っている人は少ない。荒木副知事は、県の課題をおっしゃったが、それは仕方がない。私どもがその部分をフォローながら進める必要がある。

神門　「多様性」について考えている。企業、規模、業種、地域によって違う、他の県とも違う。多様な中でそれをいかにマネジメントしていくかがキーワードになる。そこから導き出されるのが「ハイブリッド」だ。ガソリンエンジンと電気の両方で走るハイブリッド車が出たのが代表例で、新しい価値を生み出す。有機物と無機物によるハイブリッドマテリアルは当社も作っている。違うものが混ざると新しい価値が生み出されることは実証されている。

村元　「働き方改革」を挙げたい。中小企業にも20年から法の網がかかる。間違いのないような運用をしなければならない。残業は会社も売り上げが上がるし、中小企業の従業員は残業代が生活給になっているという意識が強い。残業がなくなれば、会社としてその分を補填してあげなければならない。これが今からの経営にどう影響があるか。規模の小さい企業ほど、重くのしかかってくる。大企業でオーバーフローした部分が下請けに回ってくる。仕事が増えるという利点はあるが、働き方改革という面ではなかなか難しくなる。現在のように人手不足が深刻な時代で、流動化の原因になってしまう。働き方改革を実現するためには付加価値を高める必要がある。簡単ではない。ある会社で働き方改革ではなく「働かせ方改革」を推進しているということを聞いた。経営数字をすべてオープンにした上で、従業員が上げた成果を還元する。いかに時間を有効に活用して成果を上げるかが自分たちの賃金に跳ね返る。会社、従業員がそれぞれ働かせ方、働き方を考えて、成果を上げられるようになればいい。

―最後に産業振興に取り組む兵庫県の姿勢を聞かせてください。

荒木　兵庫県は阪神・淡路大震災後の20数年間、財政再建を強いられてきた。個人的に心配なのは、その間、我々の発想が萎縮していなかったか、チャレンジングなことができたのかどうか、一つひとつの施策が現場に届いているか、効率的、効果的にやってきたかを気にしてきた。職員には、現場の課題に応えているか、言い続けてきた。兵庫県の作った経済・雇用活性化のプランは、ひと言で言えば稼ぐ力を持つ産業を作るということ。次世代成長産業を集積させる。地域産業の商店街、農林水産業も高付加価値化を図っていく。技術革新を起こし、地域資源を活用する。産学官、金融機関との連携もある。一つひとつこれを起こしていこう、やっていこうというチャレンジだ。兵庫工業会が掲げる「変化に挑戦　輝く未来へ」という目標を現場、現実の中で兵庫県もやっていかなくてはならない。それには人と交わることが大事なので、ぜひ工業会の会員企業と県庁職員との忌憚のない意見交換の機会を通じて、変化を作り出せるよう努力したい。

―ありがとうございました。

宮脇　次世代産業へチャレンジ
金井　モノづくりの転換急務
竹田　成功事例共有し活性化
神門　異種混合が新たな価値生む
村元　働き方考え成果につなぐ
荒木　〝稼ぐ力〟持つ産業創生

垣根なくし交流深める

兵庫工業会 副会長
神門　登氏

情報交換で課題解決へ

兵庫県副知事
荒木　一聡氏

座談会出席者

◇兵庫工業会
会長　宮脇　新也氏
副会長　村元　四郎氏
〃　金井　宏彰氏
〃　竹田　佑一氏
〃　神門　登氏
◇兵庫県
副知事　荒木　一聡氏
【司会】
日刊工業新聞社
神戸総局長　花岡　敬二

株式会社 神戸製鋼所
代表取締役社長　山口　貢
神戸本社　〒651-8585　神戸市中央区脇浜海岸通2−2−4　☎078(261)5111
東京本社　〒141-8688　東京都品川区北品川5−9−12　☎03(5739)6000
http://www.kobelco.co.jp

川崎重工業株式会社
代表取締役社長執行役員　金花　芳則
〒650-8680　神戸市中央区東川崎町1−1−3　☎078(371)9530
https://www.khi.co.jp　FAX078(371)9568

水と空気を科学する
ハニー化成株式会社
代表取締役社長　吉田　眞也
〒653-0039　神戸市長田区日吉町3−1−33　☎078(691)8282
http://www.honny.co.jp　FAX078(691)8289

世界8ヶ国・9の現地法人を配置し、一貫同期生産体制（金型設計／製造、樹脂成型、プレス加工、基盤実装、外装、組立）を確立
株式会社 村元工作所
代表取締役社長　村元　陽一
〒651-2271　兵庫県神戸市西区高塚台3−1−56　☎078(991)1600
http://www.muramoto.com/　FAX078(991)1580

宇宙のような「真空」を創る
神港精機株式会社
代表取締役社長　眞下　忠
〒651-2271　神戸市西区高塚台3−1−35　☎078(991)3011
http://www.shinko−seiki.com　FAX078(991)2860

精密金属プレス・板金加工並びに設計開発業務で
お客様の心に届く『モノづくり』を目指しています
大島金属工業株式会社
代表取締役　大島　孝一郎
〒651-2228　神戸市西区見津が丘2−1−8　☎078(995)4591
E-mail　info@oshima-kk.com　FAX078(995)4599

ユーザーとメーカーを技術で結ぶプロデューサー
工作機械、プレス鍛圧機械と各種装置を“ロボットでシステムインテグレート”
宮脇機械プラント株式会社
代表取締役　岡本　淳
〒673-0021　兵庫県明石市北王子町2−26　☎078(927)1181
https://www.mkp−fa.co.jp　FAX078(928)1394

とりあえずやってみよか
株式会社シマブンコーポレーション
代表取締役 社長執行役員　木谷　謙介
〒657-0845　神戸市灘区岩屋中町4−2−7　☎078(871)5181
http://www.shimabun.co.jp　FAX078(802)9524

各種精密打抜スクリーン（パンチングメタル）の製造販売
株式会社 布引製作所
代表取締役社長　安藤　隆
〒658-0025　神戸市東灘区魚崎南町2−16−24　☎078(431)1105㈹
http://www.nunobiki-s.co.jp　FAX078(431)1107

Cheer Up Your Quality　『品質』を通じて社会に価値を創造する
大王電機株式会社
代表取締役　近藤　輝
〒664-0831　兵庫県伊丹市北伊丹9−80−1　☎072(785)7333
https://www.daioh-denki.co.jp/　FAX072(785)7337

鋳鍛鋼品の切削加工　JISQ 9100認証取得企業
株式会社 きしろ
代表取締役社長　松本　好隆
〒673-0881　兵庫県明石市天文町2−3−20　☎078(917)1223㈹
http://www.kishiro-g.co.jp　FAX078(917)1226

変位センサ・メカトロニクス（計測・制御）のサプライヤー
新光電機株式会社
代表取締役　井上　直也
〒651-2271　神戸市西区高塚台3−1−55　☎078(992)0671㈹
http://www.shinkodenki.co.jp　FAX078(992)0506

社会と地球が調和する未来を支える
株式会社 神鋼環境ソリューション
代表取締役社長　粕谷　強
〒651-0072　神戸市中央区脇浜町1−4−78　☎078(232)8018
http://www.kobelco-eco.co.jp　FAX078(232)8051

総合プラントエンジニアリング
株式会社 神鋼エンジニアリング&メンテナンス
代表取締役社長　佐藤　孝彦
〒657-0846　神戸市灘区岩屋北町4−5−22　☎078(803)2901
http://www.shinkoen-m.jp　FAX078(803)2909

鉄鋼、鉄鋼材料、非鉄金属、機械、情報産業、溶剤
各製品の販売および輸出入業務
神鋼商事株式会社
代表取締役社長　森地　高文
東京本社　〒103-8261　東京都中央区日本橋1−2−5　☎03(3276)2036　FAX03(3276)2006
大阪本社　〒541-8557　大阪市中央区北浜2−6−18　☎06(6206)7010　FAX06(6206)7018
http://www.shinsho.co.jp/

分析・試験・測定から試作・製造にいたるまで、
最新鋭の設備と技術でお客様のご要望にお応えします。
株式会社 コベルコ科研
代表取締役社長　三宅　俊也
〒651-0073　神戸市中央区脇浜海岸通1−5−1　☎078(272)5915
https://www.kobelcokaken.co.jp　FAX078(265)3622

地元中堅・中小企業の技術支援機関
公益財団法人 新産業創造研究機構
理事長　牧村　実
〒650-0046　神戸市中央区港島中町6−1　☎078(306)6800
https://www.niro.or.jp　FAX078(306)6811

有料老人ホームの企画・運営、在宅ケアサービス
スミリンケアライフ株式会社
代表取締役　中根　義信
〒651-0073　神戸市中央区脇浜海岸通1−5−1（国際健康開発センター3階）　☎078(261)6665
https://www.s-carelife.co.jp　FAX078(261)6662

ジルコニア式酸素計、超音波式ガス濃度計、ガス混合装置、計測制御機器
第一熱研株式会社
代表取締役社長　中川　啓之
〒659-0026　兵庫県芦屋市西蔵町13−22　☎0797(31)2410
https://daiichinekken.co.jp　FAX0797(31)8951

総合物流システムメーカー
オークラ輸送機株式会社
代表取締役社長　大庫　良一
〒675-8675　兵庫県加古川市野口町古大内900　☎079(426)1181
http://www.okurayusoki.co.jp/　FAX079(426)1324